

【ご紹介資料】

2021年3月24日

FUJITSU

shaping tomorrow with you

FUJITSU Hybrid IT Service デジタルインフラアセスメントサービス

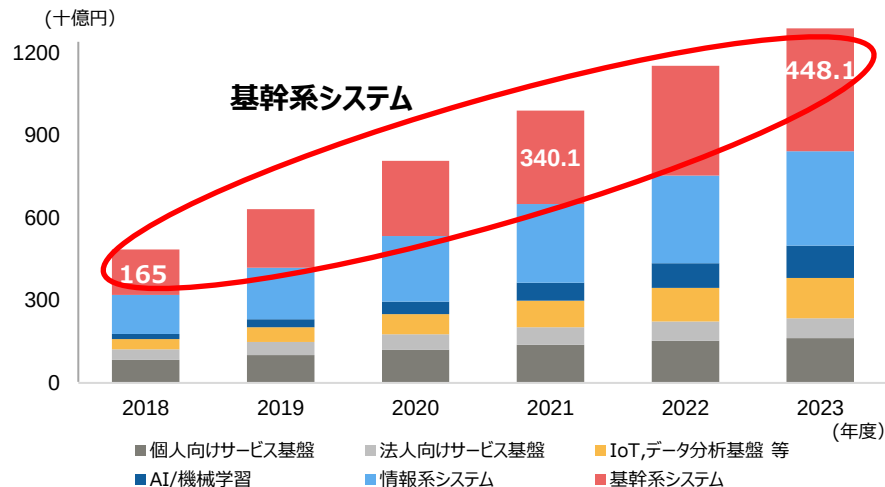
富士通株式会社

FUJITSU
Hybrid IT Service

企業ITを取り巻く状況

基幹業務のクラウド移行やハイブリッド統合管理の取り組みが本格化

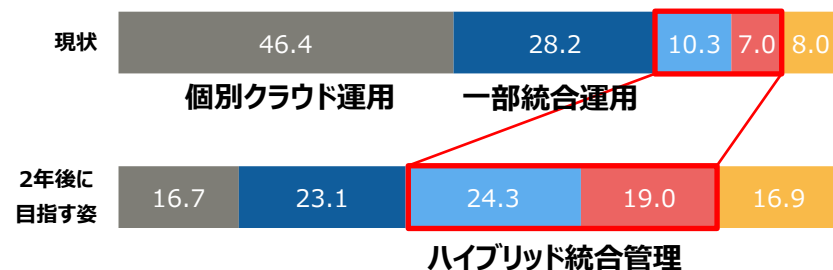
「2025年の崖」克服を契機とした
基幹系のクラウド移行が増加



※2019年度見込、2021年度以降は予測

出典: 富士キメラ総研 「2021 クラウドコンピューティングの現状と将来展望」(引用承諾済)

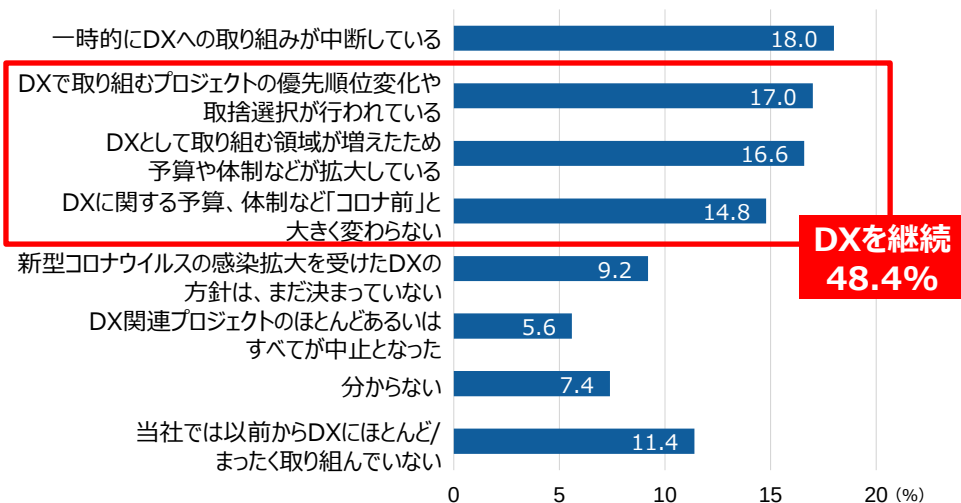
ハイブリッドITの統合管理増加



- クラウドを個別に利用/導入、管理
- 複数のクラウドを利用/導入、部分的に統合運用管理
- 複数のクラウドを利用/導入、すべてのクラウドを統合運用管理
- 複数のクラウドを利用/導入、すべてのクラウドと従来型ITを統合運用管理
- 不明

出典: IDC Japan「2019年 国内クラウド市場 需要動向調査」(#JPJ44561319)
承諾番号:IDCJ-20-0276

COVID-19のDX取り組みへの影響



出典: IDC Japan「2021年 国内企業のIT投資におけるCOVID-19の影響」(#JPJ46230120)

COVID-19を契機としたIT環境の変化

リモートワーク環境の
緊急整備

インターネット・ツールの
緊急導入

押印廃止へ向けた
電子決裁システム短期構築

事務所マシン室から
クラウド移行加速

セキュリティポリシー
緊急緩和

ニューノーマルな新たな環境へ向け、DXは加速する

長年、日本のお客様に向き合い培ってきた実績・知見・技術を結集
新たなコンセプトに基づく一体型ソリューション

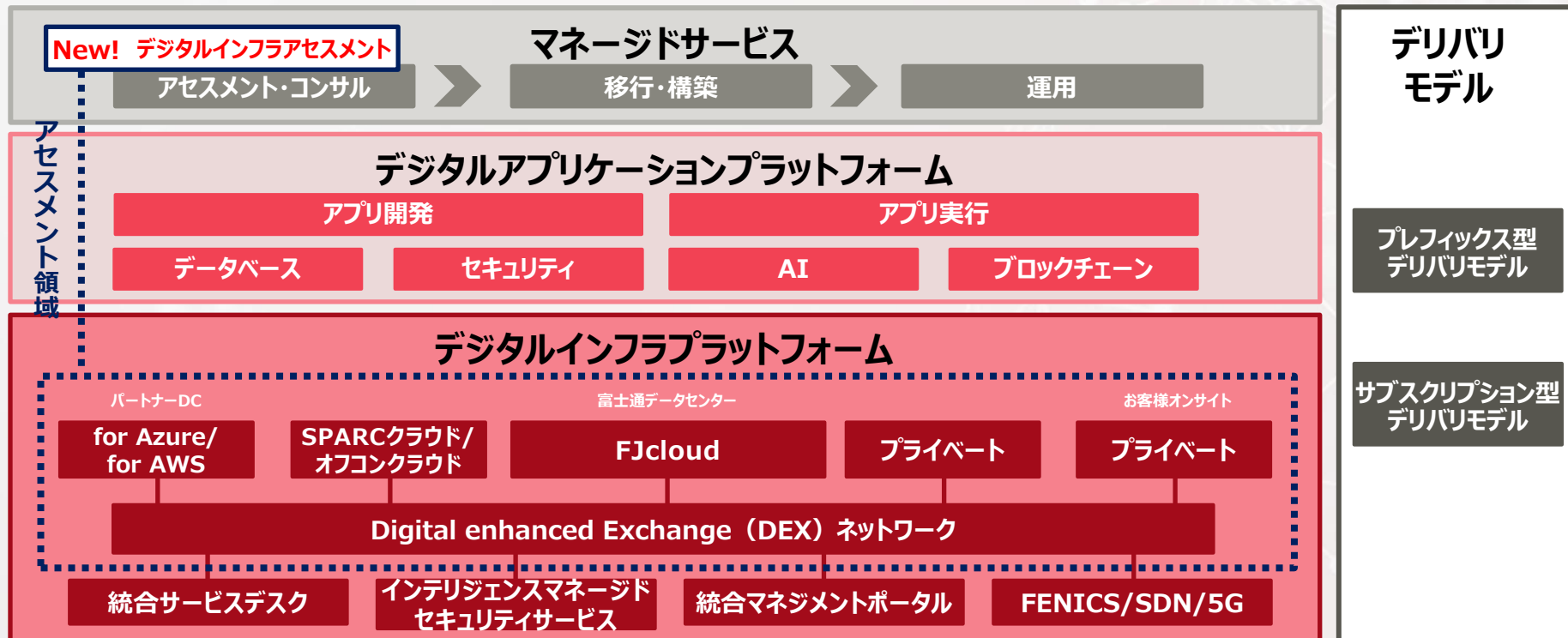
FUJITSU Hybrid IT Service

これからの未来、ニューノーマルに向け
お客様DXの実現や豊かな社会づくり、持続可能な社会に貢献

FUJITSU
Hybrid IT Service

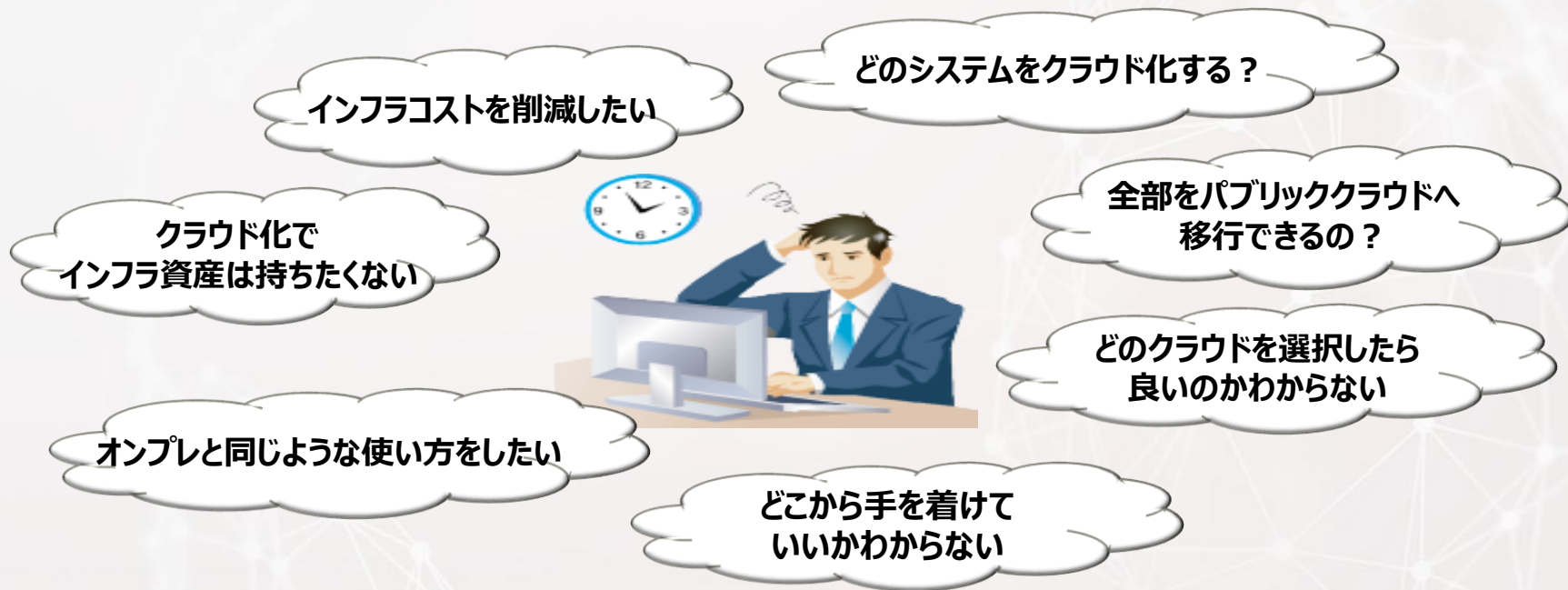
New !
FUJITSU Hybrid IT Service
デジタルインフラアセスメントサービス

■ インフラ領域に対する「デジタルインフラアセスメントサービス」を新規に提供



インフラ刷新やリプレイス時のお客様の声

FUJITSU



インフラ検討に際しての漠然とした不安を

『デジタルインフラアセスメントサービス』が解決します！

- 次期のインフラ基盤の検討が早急に必要。
パブリッククラウドの活用を考えたいが、**何を確認すればいいか教えてほしい。**
- プライベートクラウド基盤を規模を縮小し、可能な限りパブリッククラウドへ移行したい。
どのシステムをパブリッククラウドに移行するべきか、**方針検討を手伝って欲しい**
- 基幹システムの刷新を計画している。
オンプレのサービスレベルを維持したいが、**どのクラウド環境へ移行できるか教えて欲しい。**
- 各部門の担当者が各々でシステムを導入している。
次期インフラ基盤は、業務の重要度に見合った構成にしたいが、**今後の進め方を教えて欲しい。**

デジタルインフラアセスメントサービスとは ～2021年4月1日提供開始～FUJITSU

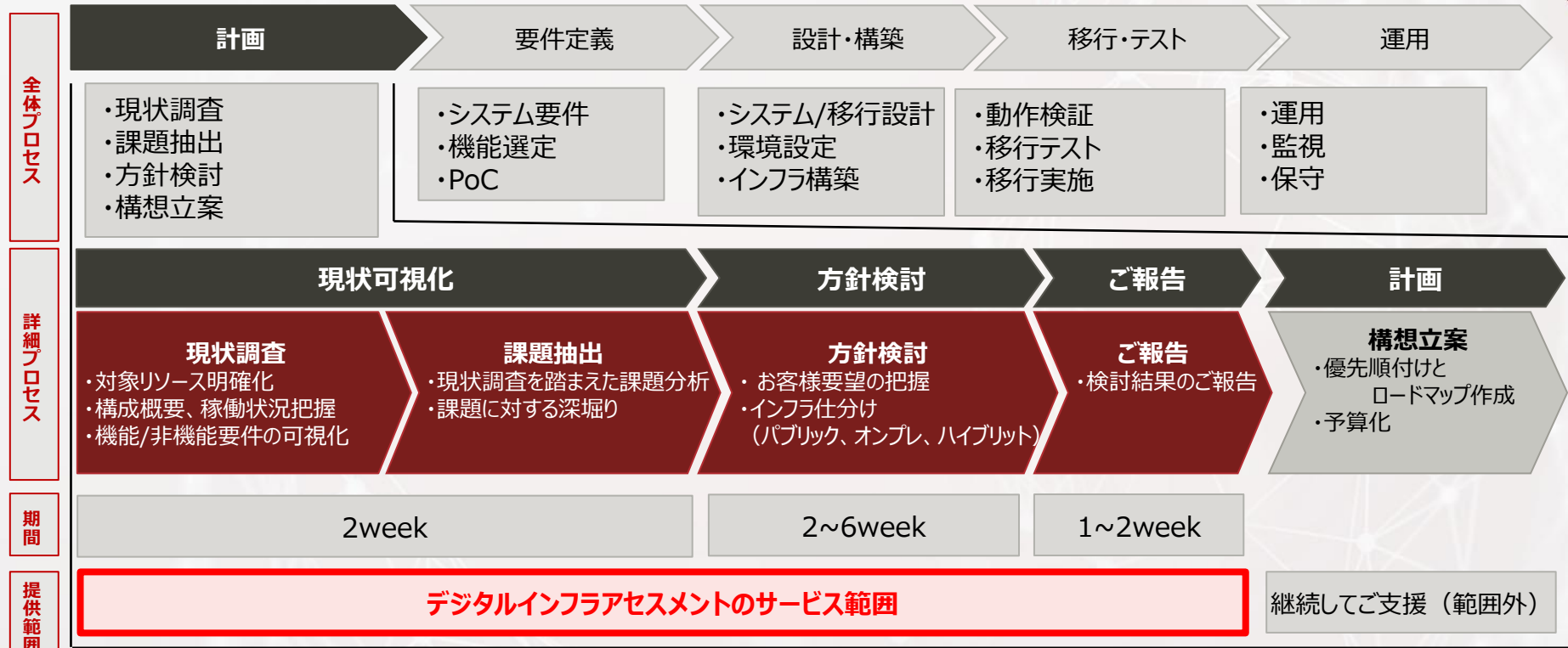
- 企業がDXを加速するためにクラウドやハイブリッドITなど柔軟なインフラ活用が注目されていますが、複雑化、高度化するインフラの最適な選択など、どう検討を進めるべきかといった課題も顕在化しています。
- 本サービスでは、お客様のインフラ資産の情報をもとに診断し、**課題の抽出、構成案など今後のインフラ対応方針についてご報告**します。
- クラウド移行やインフラのモダナイゼーションなど**インフラ検討具体化に向けてご活用**いただけます。



- 現行インフラ資産の状況やお客様のシステムへの要求を踏まえ、お客様毎に**最適な対応方針をご報告**
- 長年のお客様システムの提案・導入実績・知見や技術力を結集。**デジタルインフラに精通した担当者**による対応
- **無償で提供**することでインフラ検討を加速し、お客様のDX推進をご支援します。

※本サービスには対象条件がございます。詳細は担当営業までご連絡ください。

デジタルインフラアセスメントサービスの範囲



※期間は、サーバ台数や対象項目により変動します。最大約2か月となります。

デジタルインフラアセスメントサービスの流れ

現状可視化

ツールによる課題抽出

No.	ID	名称	種別	優先度	発生頻度	影響度	発生場所	発生時期	発生回数	発生率	発生原因	発生対策	発生対策の実施状況	発生対策の実施時期	発生対策の実施回数	発生対策の実施率	発生対策の実施時期	発生対策の実施回数	発生対策の実施率
1	001	システム構成図	システム	高	頻	大	システム	2021年	10	100%	システム	システム	システム	2021年	10	100%	システム	10	100%
2	002	ハード/ソフト一覧	ハードウェア	中	頻	中	ハードウェア	2021年	10	100%	ハードウェア	ハードウェア	ハードウェア	2021年	10	100%	ハードウェア	10	100%
3	003	リソース使用状況	リソース	中	頻	中	リソース	2021年	10	100%	リソース	リソース	リソース	2021年	10	100%	リソース	10	100%
4	004	非機能要件	非機能要件	高	頻	大	非機能要件	2021年	10	100%	非機能要件	非機能要件	非機能要件	2021年	10	100%	非機能要件	10	100%
5	005	サービスレベル	サービスレベル	高	頻	大	サービスレベル	2021年	10	100%	サービスレベル	サービスレベル	サービスレベル	2021年	10	100%	サービスレベル	10	100%

- ✓ お客様の資産情報のご提供
 - ・対象システム、システム構成図
 - ・ハード/ソフト一覧
 - ・リソース使用状況、など
- ✓ 非機能要件、サービスレベルのご提示

- ✓ 課題、制約となる項目を抽出

方針検討

ヒアリングによる対応方針の検討

No.	ID	名称	種別	優先度	発生頻度	影響度	発生場所	発生時期	発生回数	発生率	発生原因	発生対策	発生対策の実施状況	発生対策の実施時期	発生対策の実施回数	発生対策の実施率	発生対策の実施時期	発生対策の実施回数	発生対策の実施率
1	001	システム構成図	システム	高	頻	大	システム	2021年	10	100%	システム	システム	システム	2021年	10	100%	システム	10	100%
2	002	ハード/ソフト一覧	ハードウェア	中	頻	中	ハードウェア	2021年	10	100%	ハードウェア	ハードウェア	ハードウェア	2021年	10	100%	ハードウェア	10	100%
3	003	リソース使用状況	リソース	中	頻	中	リソース	2021年	10	100%	リソース	リソース	リソース	2021年	10	100%	リソース	10	100%
4	004	非機能要件	非機能要件	高	頻	大	非機能要件	2021年	10	100%	非機能要件	非機能要件	非機能要件	2021年	10	100%	非機能要件	10	100%
5	005	サービスレベル	サービスレベル	高	頻	大	サービスレベル	2021年	10	100%	サービスレベル	サービスレベル	サービスレベル	2021年	10	100%	サービスレベル	10	100%

- ✓ 抽出した課題をもとにヒアリング（2回まで）
- ✓ お客様に業務重要度、可用性、災害対策などのご要件などの項目を中心に確認

- ✓ 課題解決に向けた対応方針を検討

まとめ

ご報告



- ✓ 検討結果のご報告と今後の対応のご提言

- ✓ 貴社にて計画の具体化に活用
※富士通にて、継続したご支援が可能です

■ 稼働資産

対象	内容
サーバリソース(※)	割当量、使用率(CPU/メモリ/ディスク)、季節変動性(期末など)の有無。
ソフトウェア	OS、サーバ機能
ネットワーク	トラフィック量、インターネット接続環境
セキュリティ	WAF、IDS/IPS、ウイルスチェックの有無

※サーバ台数は、10台～100台まで。

■ 非機能要件

対象	内容
サービス時間	サービス時間、停止可能時間
可用性	冗長化方式(負荷分散、クラスタ等)
災害対策	バックアップ/リカバリ手法、災害対策(RTO/RPO)

■ 業務要件

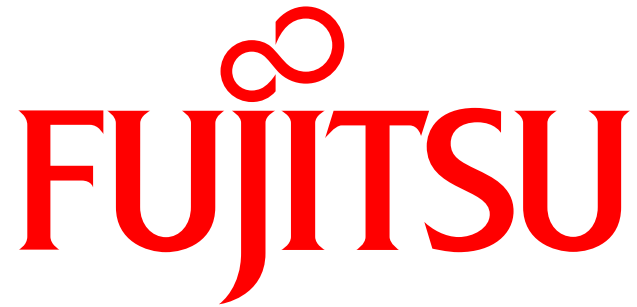
対象	内容
業務重要度	停止時の影響、システム利用者(社内・社外)、システム用途(本番・開発・検証)
ロケーション	データセンター、パブリッククラウドなど

アウトプットのイメージ

- 本資料はイメージを記載したものです。



※ ご報告書は、アセスメント対象や範囲により、変更となる場合があります。



shaping tomorrow with you